

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
広島県ワークショップ 報告書

2017（平成29）年3月2日（木）に、下記要項にて広島県ワークショップを開催しました。広島県教育委員会の黒田康弘氏、光橋健氏、オリンピック・パラリンピック推進校並びにそれ以外の小学校・中学校の教員合わせて14名が参加されました。

【開催概要】

日時：平成29年3月2日（木）13：30～16：30

会場：県立総合体育館 ミーティングルーム

プログラム：13:30～ 開催挨拶

深見英一郎氏（早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授）

13:40～ 平成29年度推進校の取り組みについて

光橋健氏（広島県教育委員会スポーツ振興課 指導主事）

14:00～【協議】オリンピック・パラリンピック教育推進について

16:20～ 講評

深見英一郎氏（早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授）

まず、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの深見氏が、今年度の事業実践にご協力いただいた広島県教育委員会並びにオリ・パラ推進校に対して御礼のご挨拶と、来年度も引き続き本事業へのご協力をお願いしました。今年度、県内8つの高校へオリンピックの派遣と、1校へ教材資料を提供したこと、来年度は単にオリンピック・パラリンピックの派遣に留まらない、現場の先生方によるオリ・パラ授業に積極的にチャレンジしていただききたい旨をお話しました。



挨拶 深見英一郎氏



今年度の振り返りと来年度の事業説明 光橋健氏

その後、広島県教育委員会の光橋氏が、今年度の事業の振り返りをし、来年度の変更点などをお話されました。今年度は高等学校での実践のみであったため、来年度は他の校種でも事業を行い、推薦校の数も増やしていきたいこと、広島県内のみの交流ではなく、他県で行われる全国セミナーや全国ワークショップにも積極的に参加し交流を図っていきたい旨のお話がありました。また、選手の派遣

事業を一過性のイベントで終わらせてしまうことのないよう、オリパラ教育のノウハウを確実に蓄積し展開していきたいと、話していただきました。

次に、本年度に事業を実施した推進校の先生方から、実施内容とオリパラ教育の効果、次年度に向けての改善点などを順に話していただきました。多くの先生方から、実施前はオリンピック・パラリンピックに対して興味を持っていない生徒が多かったが、目の前でトップアスリートの実技を見たり講演内容を聴いたりすることで、生徒たちのスポーツに対する関心が高まったこと、自身の生き方・考え方を振り返り成長の糧にすることができた生徒が多かったことなど、大変有意義な時間を送ることができたと評価していただきました。改善点として、派遣選手やオリンピック・パラリンピックについて事前学習を十分に実施するようにしたら、また違った視点で生徒が思考することができたのではないかとご意見をいただきました。

取組みについての発表のあとは、推進校の先生方に3つのグループに分かれてもらい、オリンピック・パラリンピック教育のモデル授業を作成するというグループワークを実施しました。指導案作成に当たっては、①「スポーツ」「オリンピック」に対する深い理解、②「オリンピックムーブメント」への主体的な参加、③2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会への参画という3つの観点を意識していただきました。およそ90分という作成時間でしたが、その間に積極的にグループ内で意見を出し合い、どのようなテーマや発問をするのがよいか、熱心に討論をされていました。過去のオリンピックやパラリンピックの映像を見せ、スポーツを通して公正・公平な態度や他者への尊重について考えさせるような授業や、メディアがスポーツへ与える影響について、良い側面と負の側面の両方について生徒に考えさせた上で、スポーツのあり方や価値を再構築する授業、スポーツやオリンピック・パラリンピックの持つ価値について、生徒自身が自分なりに価値観を見出し、自身の生活へと落とし込むことができるような授業など、大変質の高い指導案を作成していただきました。

最後に、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの深見氏から、本日交流していただいた知識を各学校へ持ち帰り、今後もさらに学校の教員全体でムーブメントを起こして欲しいと総括の言葉がありました。



校種を超えた指導案検討会



オリパラ授業指導案のプレゼン